

お願い

フランシスコの山を守り育てるために皆様の御協力、御支援をお願い申し上げます。

宿泊利用の申し込みをはじめ問い合わせ等は次へご連絡ください。

社会福祉法人 聖フランシスコ会
レーベンス・シューレ
(担当 佐々木拓次郎)
Tel.06-6754-1121
E-mail francisco_houjin_honbu@outlook.jp

利用料金：宿泊施設使用料一人一泊1,000円
※日帰りは厚志をいただいております。

◎加入者名：社会福祉法人聖フランシスコ会
レーベンス・シューレ

◎郵便振替口座：00960-0-63409
<運営団体>

社会福祉法人 聖フランシスコ会
Tel.06-6754-1121
Fax.06-6743-7777
E-mail: francisco_houjin_honbu@outlook.jp

☆レーベンス・シューレ活動のため
御寄付をお願いします。

♪水のころろ♪

水はつかめません水はすくうのです
指をぴったりつけてそっと大切に
水はつかめません水はすくうのです
ふたつの手の中にそっとたいせつに
水のころろも人のころろも
水のころろも人のころろも

レーベンス・シューレの基本的精神は
山を師とし、自然から学び
自然から感じ取っていくことです。

場所と面積

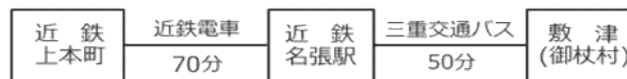
フランシスコの山

レーベンス・シューレ

三重と奈良の県境、標高970m余りの尾根を
頂きに持つ奈良県宇陀郡御杖村神末雨谷に、
全体の1/3の自然林と2/3の人工杉林から
なる八万坪の山林です。

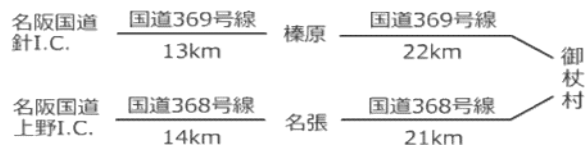
交通のご案内

●電車・バスご利用の場合



※名張⇄敷津のバスの時刻表は事前にご確認ください。
三重交通名張駅前出札所 TEL.0595-63-1418
三重交通伊賀営業所 TEL.0595-66-3715

●自動車ご利用の場合



レーベンス・シューレ
生活を学ぶ学校

LEBENS SCHULE



共に生きる 生命の出会い場

社会福祉法人
聖フランシスコ会

フランススコの山 レーベンス・シューレ

●誕生

1980年代、社会は経済性を追い求め、都会はコンクリートの砂漠となり、樹々の緑のとぼしい大都会化へと進んでいました。

自然から離れた人工的なものに敏感に反応し、苦しんでいる様子の知的障がい児・者。社会の流れについていけない健常者。経済性の低い山や林は荒れるに任せたままでした。

そんなゆがんだ社会と自然環境を憂慮したフランススコ会のドイツ人司祭ライムンド・チネカ神父によってレーベンス・シューレは誕生しました。



●目的

- ・フランススコの山を人工林から自然林に戻すこと。
- ・障がい者といわれている人も健常者といわれている人も自分の持てる力でこの活動に参加すること。

障がいを持つ人々を中心に、都会生活に疲れストレスを感じた健常者(私たち)が、荒れた杉やひのき等の人工林を、落・広葉樹の自然林にもどし、ことりや鹿、うさぎ、猪・・・etcなどの動物に豊かな実り(食物)を持たらし、堆積した落葉の持つ保水力で常に変わらぬ水量と、大雨にも崩れることのない山の育成に努めます。

障がい者、健常者共に、各々の持てる力で、その作業に従事し、山に奉仕することで、今まで気付かなかった自分に出会い、ともに生き、自然に生かされている“和らぎとやさしさ”を感じ取ることです。



●現在

1989年以來、山林を切り開き、山小屋建設の造成から始まり、ログハウスの完成、自家発電、作業小屋、山道の開墾、苗木の植樹、下草刈り、椎茸栽培場、炭燃小屋、薪小屋等を完成させ、1997年には第15回朝日森林文化賞を受賞しました。

1994年以來、トチ、ブナ、クリ、ケヤキ、サクラその他7千本余の苗木を植樹しました。これらは鹿等、山の動物の好物で、ほとんどの苗木は若芽を食われ枯死してしまいましたが、残った木々の成長が今に見ることができます。

現在は、キリスト教会や青少年団体などの参加によって、植林や下草刈りをはじめ鹿除けネットなどの作業に加え、ここ数年の台風等によって傷んだログハウス等の修繕ならびにメンテナンスなどに取り組みが行われ、レーベンス・シューレを次の世代につなげる活動が続けられています。

